

「根ハンドブック」の完成

お陰様で「根ハンドブック」が11月の初めに完成いたしました。60名を越える方々に約110項目について分かり易く解説して頂いたもので、研究方法や主要文献リストも掲載されております(詳細につきましては、本号の該当ページをご覧ください)。根および根を取り巻く環境に関する研究の現状を見渡す上で役に立つもののできたと考えております。原稿をお書き頂いた方々はもちろんのこと、企画に積極的に参加して頂いた編集委員の皆様、最終的な編集作業および煩雑な索引の作成にご尽力頂いた事務局の阿部さんに、厚くお礼申し上げます。なお、この企画は今まで空白であった部分を埋めるものであったためか、すでにある出版社より近い将来商業出版する意向はないかという問い合わせも頂いております。次回の改訂の際にも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

去る11月5日に東京大学農学部におきまして、第4回根研究集会を開催いたしました。今年から新設されました科研費の研究成果公开发表(B)を獲得するための公開講演2題の他、9題の発表がありました。公開講演には高校生を含む一般の方々の参加もあり、盛会となりました。自由な雰囲気です異なる分野の交流ができることは、根研究会の発足当初からの誇るべき特色ですので、今後も大切にしていきたいと考えております。なお、残念ながら上記の科研費は採択になりませんでした。採択になった場合の配布資料というアイデアが「根ハンドブック」という形で実現したことは大きな成果でした。

来年の8月に福井県立大学で第2回アジア作物学会議が開催されます。この中で「イネの理想型根系」と題するミニシンポジウムを申請しております。まだ不確定な部分もありますが、現在の準備状況につきましては、本号の該当ページをご覧ください。1996年度以降のシンポジウムにつきましても、アイデアをお寄せ下さい。積極的に企画、運営して下さる方がいらっしゃいましたら、研究会として全面的に支援させていただきます。

養賢堂から発行されています「農業および園芸」での連載記事が回数を重ねてきましたので、現在までに印刷となりました分をまとめてご紹介することにしました。「根ハンドブック」のアドバンスコースとしてご利用下さい。現在、来年度の予定を企画中でありますので、原稿をお願いできる場合は、ご連絡下さい。また、11月末までにご連絡頂きました会員の方々の1993年中に印刷となった著作のリストを作成いたしましたので、ご利用下さい。なお、今回掲載できなかったものも、将来何等かの形でフォローしたいと考えておりますので、もれているものがございましたらご連絡下さい。

最後になりましたが、本年中の皆様のご支援とご協力に心より感謝いたします。どうぞよいお年をお迎え下さい。

1994年12月 会長 森田茂紀